



Newsletter

Professors, we are coming to tell you how useful WebCT is!



WebCT 活用事例 (7) : こんな風にも使える WebCT

臨床教育研修センター(歯科領域) 小川哲次先生

WebCT は、資料配布やテスト実施、レポート収集などに使用されることがほとんどです。今回は、そんな WebCT を SNS や e ポートフォリオとして使うという事例を紹介します。

■ WebCT の利用を始めたきっかけは何ですか。

欧米で e ラーニングツールが利用されるのを見ていたので、日本でもはやく環境が整備されないと、ずっと待っていました。

本学の WebCT には、(1) 一般の Web ページよりはセキュリティがある程度確保できること、(2) 構成員全員が利用できることが保証されていること、(3) サーバ管理を部局でする必要がないこと、(4) 学生、教員、学外の医師間、つまり遠隔地での情報共有に便利であること、(5) 情報のアクセス制限がしやすいこと、などが期待できると考えて利用を始めました。いつから使い始めたのかについては覚えていませんが。

■ 小川先生は WebCT を授業の補助ツールとしてではない、ユニークな使い方をされていますね。

わたしは大学院も協力講座として担当していますが、本務は卒業した歯科医師、歯科衛生士などの臨床研修を担当する部署のまとめ役です。臨床教育研修センターというところで、臨床研修生の教育を担当しています。

そういうわけで、特定の授業向けではなく、臨床研修を有意義にするために色々な WebCT コースを作成して使っています。

■ どのようなコースを持たれているのか、簡単に紹介していただけますか。

古いものから情報提供サイト、評価サイト (48 コース)、e ポートフォリオの 3 種類のコースを利用しています。

情報提供サイトは、WebCT が以前のバージョンだった頃から利用しています。WebCT のバージョン移行の際 (2008 年度末) には、コースが大き過ぎて自分達では移行ができなかったのでコンテンツ作成支援室に支援を依頼しました。

評価サイトは、指導医が臨床研修生の評価を入力する場として作りました。臨床研修は複数の診療科にわたって実施されるので、各所で入力されるものを一カ所にまとめる工夫をしました。WebCT のグレードブック機能を使っています。



能を使っています。

e ポートフォリオは、研修生が日々の活動の記録を蓄積できるようにと作りました。WebCT の日記 (ディスカッションツール) を使っています。

■ これらの中で先生にとって、一番面白いと思われる使い方、あるいは役に立っていると思われるものは何ですか。

情報発信と情報共有ですね。情報提供サイトでは臨床研修医と指導医の間で、また e ポートフォリオでは研修生から指導医に対しての情報発信がありますし、指導医間での情報共有があります。さらに研修医からの投稿に対する指導コメントを互いに共有することで、指導医間での学び合い、情報共有にも期待しています。

■ 大規模に WebCT をご利用いただいています、ご利用いただく中で難点がありましたでしょうか？

例えば e ポートフォリオについてですが、WebCT の操作を難しく感じる実習生がいます。実習生は本学の出身者ばかりではありませんから、研修に来て初めて WebCT を見たという人もいます。

■ コンテンツ作成支援室ではコースを作成する側の講習は行いますが、学生として利用する方々に対しての講習は、小川先生の依頼で実施した講習会の 1 回だけでした。

そうですね。またこれは WebCT 以前の問題ですが、Word や Excel の扱いでも戸惑う人もいます。PC よりもケータイの扱いに慣れている世代だからかもしれません。ケータイやスマートフォンで WebCT が扱えるようになると、使いやすくなるかもしれないですね。

■ 何か要望がありましたらお願いします。

生涯教育ということになるかもしれませんが、卒業後のフォローアップの体制作りができるといいですね。現在の状況では、e ポートフォリオに蓄積した成果物が、修了後には見られなくなってしまいますから、生涯アカウントの発行ができるようになるといいなと思います。

それから動画コンテンツの作成と配信をしたいです。診療室の様子を、講義室に配信して教育に利用したいと思います。言葉で聞くだけよりも、実際の様子を見た方が理解しやすいですから。もちろん、そのためにはプライバシーやセキュリティ、インフラの整備などクリアしなければならない問題はあります。でも例えば、セキュリティ上、診療室の様子は常時撮っていますよということにして、その映像を何らかの目的で使用する場合には同意書をとるというような方法もあると思います。これは教育だけではなく、診療の可視化にもつながりますね。動画コンテンツ作成の需要は多いと思います。

■ 最後に、これから WebCT を利用される方にメッセージがあればお願いします。

そうですね。「世界に負けないようにしましょう」ですね。

紙ベースで実施していたものの電子化だけでなく、新しいツールの活用方法を貪欲に追求されている姿勢に感銘を受けました。どうもありがとうございました。

(2012 年 1 月 16 日 / 大学病院にて)



WebCT プレミアムプロジェクト終了のお知らせ

ごあいさつ

「WebCT プレミアムプロジェクト」は、広島大学での e ラーニング推進をテコ入れするために、2008 年度後期からはじまりました。教職員のみなさんが学習コンテンツを作成する際の後方支援を主な役割として、専任の職員 2 名と、技術センターやメディアセンターから兼任の協力教職員数名で活動してきましたが、当初予定通りプロジェクトとしての活動は本年度末をもって終了することになりました。

これまで支援サービスをご利用いただいたみなさま、どうもありがとうございました。

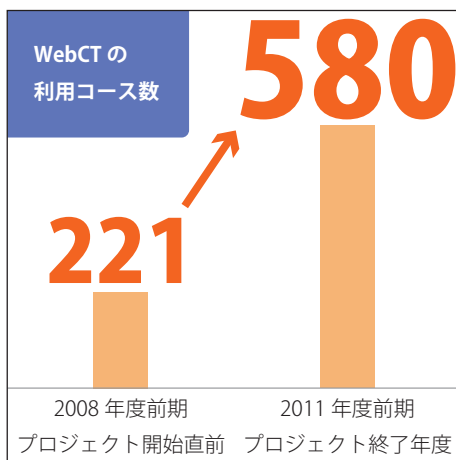
3 年半の活動

本プロジェクトでは、教員とこれまでよりも密に連携して支援活動をおこなってきました。授業の WebCT コースへ支援員を登録し、設定のアドバイスや代行をおこなった授業科目は 63 科目にのぼります。また、教材を Web に掲載する際には著作権処理が必要になる場合がありますが、支援室では 82 件、資料数で言うと 1300 件以上の処理をおこなってきました。その他にも動画教材や技術資料の作成、講習会などを実施してきました。これらの活動を通して、広島大学の教職員のみなさんに e ラーニングの有効性を認識していただけたと考えています。

3 月 21 日に、「教育情報化推進フォーラム」と題して、プロジェクトの報告会を行います。e ラーニングに詳しい講演者を学外から招く予定です。また、学内の WebCT 活用事例の報告なども企画しております。是非ご参加ください。

これから…

4 月以降の支援体制はまだ未定です。これまでと同じレベルの支援サービスが継続できるか現時点ではわかりませんが、広島大学の、全国的にも進んでいる支援体制を維持していただきたいと思います。



報告会やりますよ…

3 月
21

教育情報化推進フォーラム
「大学での e ラーニング支援：
明日の教育に向けて（仮）」
2012 年 3 月 21 日（水）
広島大学ライブラリーホール

教職員向けチュートリアルを配布中



イメージを拡大

はじめての WebCT CE6 第 2 版

隅谷孝洋, 秋元志美, 原田久美, 林雅子, 長登康, 稲垣知宏,
北川和英 (著) 佐々木由夏 (装丁)

★★★★★ (10 件のカスタマーレビュー)

価格: ¥0 学内便でお届け。詳細

在庫あり。在庫状況について

この商品は、els.hiroshima-u.ac.jp が印刷、発送します。

ご注文はお早めに。コンテンツ作成支援室まで。

出前講習会もうちょっとやります

期間限定
2月末迄

WebCT 出前講習会を実施中です。

WebCT の利用方法をお知りになりたい方は、是非お申し込み下さい。参加者 1 名でも出前に伺いますので、お気軽にご利用ください。

2012 年 2 月 29 日（水）の実施分まで、受付けております。

お申し込みは、以下の URL より。

<http://www.els.hiroshima-u.ac.jp/s/demae/>



eLS ニュースレター 第 06 号 (2012 年 2 月 14 日)

広島大学 教育室 コンテンツ作成支援室 発行

編集: 秋元志美, 原田久美, 隅谷孝洋

〒739-8521 東広島市鏡山 1-7-1
<http://www.els.hiroshima-u.ac.jp>

Tel/Fax: 082-424-2465

E-mail: els-admin@els.hiroshima-u.ac.jp